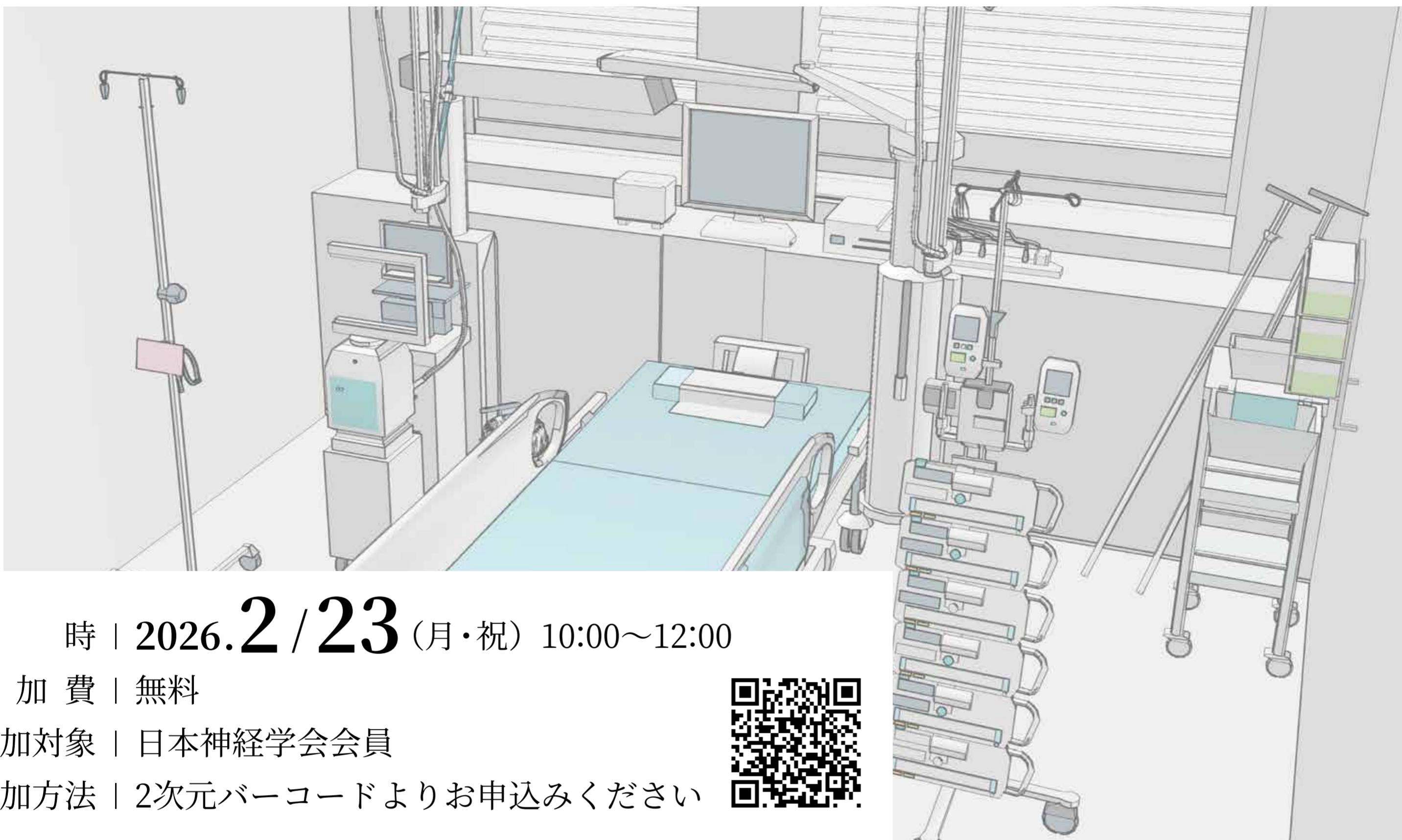


脳神経内科医のための法的脳死判定最新ガイド： 脳死下でみられる運動を含めて



日 時 | 2026.2/23(月・祝) 10:00~12:00

参 加 費 | 無料

参加対象 | 日本神経学会会員

参加方法 | 2次元バーコードよりお申込みください



Program

- 1 | 2024・2026の法的脳死判定マニュアル改訂概観：園生雅弘
- 2 | 脳神経内科医は、脳死下運動について熟知しよう：永山正雄、藤本健一、園生雅弘
- 3 | 法的脳死判定における脳波について：吉村元
- 4 | JOTが神経学会に期待すること：横田裕行
- 5 | 神経学会の、JOTからの問い合わせに対する対応体制：西山和利、園生雅弘

日本において脳死臓器移植は、諸外国に比べて極端に少なく、それを増やすことは国家的課題となっています。2024年に法的脳死判定マニュアルが改訂されましたが、その改訂内容は十分に周知されていません。法的脳死判定がストップする原因として最も多いもののひとつに脳死下で見られる運動がありますが、2024マニュアルではこれについて詳細な例示がされました。神経症候学のエキスパートである脳神経内科医は、脳死下運動について適切な判断を下せることが求められており、本セミナーではそれらを実例を示しつつ解説します。また今回の改訂では脳波記録が大きく簡素化され、脳血流検査の価値も認められました。2026年にはさらなる改訂が予定されており、その方向性についての議論が続けられています。

脳神経内科医は脳死判定医となることで従来から脳死臓器移植に関与してきましたが、その貢献はこれまで十分に評価されていたとは言えません。日本神経学会では日本臓器移植ネットワーク（JOT）と連携を深めて脳死臓器移植の推進に学会を挙げての協力を始めています。

本セミナーではこのような脳神経内科医をとりまく脳死判定・脳死臓器移植の最新状況について、日本神経学会会員の皆様と広く情報共有することを目指します。